

避難について

気象情報などを確認し、万一浸水した場合に備えて、以下のような避難行動をとりましょう。

大雨が降ってきたら

建物の2階以上へ避難するなど安全な場所へ一時的に避難しましょう。



より大きな雨が降り続き、河川の堤防の決壊などによるはん濫のおそれがある場合には、避難情報に従いましょう。避難時は、川や橋には絶対に近づかないでください。



水が引くまでは一人で外に出ることは控えましょう。道路が冠水しているとマンホール蓋や側溝の蓋が外れていても気付きにくいので、どうしても外に出る場合は、足元に注意しましょう。



大雨の時に大量の水を排水すると浸水の危険性が高まりますので、排水するのは控えましょう。

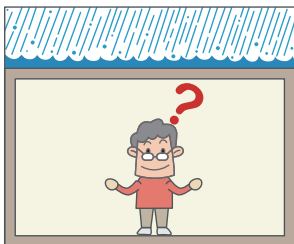


周囲よりも水の集まりやすいアンダーパス（立体交差などで道路が地下にもぐっている場所）は、大雨時に冠水しやすく、足を取られたり、自動車が立ち往生して非常に危険です。絶対に近づかないでください。

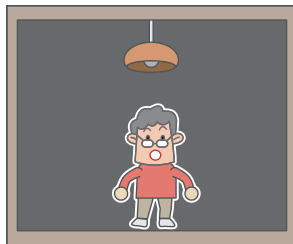


地下空間における浸水の危険性

半地下住宅や地下駐車場では、雨が降り始めたらすぐに上階へ避難しましょう



地下室では外の様子がわかりません。



浸水すると停電の恐れがあります。



水圧でドアがひらきません。



地上が冠水すると一気に水が流れ込んできます。

雨の強さのチェック



1時間雨量 10～20mm

ザーザーと降る

雨の音がよく聞こえ、地面に水たまりができる場所もあります。



1時間雨量 20～30mm

どしゃ降り

どしゃ降りの雨。傘をさしても濡れてしまうほどの雨です。



1時間雨量 30～50mm

バケツをひっくり返したように降る

バケツをひっくりかえしたような激しい雨。河川の水があふれや、崖くずれがおこりやすくなります。



1時間雨量 50～80mm

滝のように降る（ゴーゴーと降り続く）

滝のように降り、あたりが水しぶきで白っぽくなります。道路が冠水し、水害発生の危険性が高まります。



1時間雨量 80mm～

息苦しくなるような圧迫感がある 恐怖を感じる

息苦しくなるような圧迫感があり、大規模な浸水が発生する恐れがあります。場合によっては河川のはん濫のおそれもあります。

注意報・警報の発表基準
(静岡地方気象台)

大雨注意報・洪水注意報

平地：3時間雨量 70mm ※
平地以外：1時間雨量 70mm ※

記録的短時間大雨情報

1時間雨量 110mm 以上

※現在、注意報・警報の発表は雨量指数等を基準にしています。詳細は気象庁ホームページをご確認ください。記載の雨量は過去の資料から参考として載せています。

大雨警報(浸水害)・洪水警報

平地：3時間雨量 110mm ※
平地以外：1時間雨量 100mm ※